

鋸山 山行報告

(山城) 房総半島・鋸山

(コース) 3月4日(土) 鋸山明鐘有料登山道路鋸山登山自動車道・山頂駐車場～大仏上岩場～山頂駐車場・帰葉

(日時) 2017年3月4日(土曜日)

(天候) 晴れ～曇り

(参加者) CL 田中・時田・小宮山 (記録)

(山行タイム) 9:15 山頂駐車場出発～9:30 大仏上岩場・練習～13:40 下山開始～14:00 山頂駐車場

(山行報告)

9:00 に有料駐車場入り口で CL と T さんを乗せた車と落ち合う。大きなヤシの木が並ぶくねくね道を山頂駐車場へ。海とヤシがまぶしく南国の景色だ。鋸山を境に気候が変わると聞くが頷ける話だ。前を走る CL の車が時々止まる。どうやら岩場ポイントの解説をしているらしい。すぐに山頂駐車場に着く。観光客の車が 10 数台止まっていた。

支度をして 9:10 出発。日本寺境内を通るので、ギアやヘルメットはザックにしまいこむ。普通の登山客のいでたちで GO。拝観料 600 円を支払い中へ。なんとなくコソッと入る。地獄覗きや山頂展望台方面へ階段を上り、それらを左手に通り過ぎて、今度は大仏方面にちょっと下る。その途中で左に折れて茂みの中へ。けもの道はついており、ほどなく大仏上岩場へ到着する。

CL がロープやスリングを駆使して、逆 T 字状に確保用のシステムをセットする。ひよっこ 2 人はとりあえず自己ビレイして機械出しをする。

海がきれいです～、あ、あれは大島なんですね～、神奈川がちか～い、とのんきな事も言いながら、システムをよく見て勉強。今一つ複雑なので写メにとって後で復習する事とする。

トップロープで登る用にエイトノットで自分にロープをセットする。それとは別に懸垂下降用にダブルロープをセットする。支点へのロープセットは CL が行い、ひよっこ達は CL の指示のもと、それらのロープを自分にセットする。CL は結ばれたロープの形を一目見て、「ん、(OK)」「違う」と指導。すごい。T さんと私で、ビレイヤーとクライマーを交互に行う。



クライムダウン！登山靴での上り下り、アイゼンを付けての上り下りを練習する。

Tさんは懸垂下降時に「きゃ〜、、、」と言いつつゆるゆる下るが、登りはヒョイヒョイ来る。私は、懸垂下降は楽しいが、登りは最初ちょっとコワかった。岩は手がかり足掛かりがあり、多分優しいのだろうが、高度に押しされお尻がもぞもぞする。それでも2本ずつ登山靴で上り下りし、楽しい〜気分になってきた。

ビレイのセット方法や、引き上げるとき腕で上げると疲労するため全身を使ってロープを引く、など指導を受けながら行う。

次はアイゼンを装着して同様のことをする。が、これが大変だった。前爪を岩にかけて体重を乗せるとかかどが浮いて力が入らない…。アイゼンが外れそうでコワイ。バランスが変わるとさっき登ったところが別物になる…。靴やアイゼンの締め方が要検討だ。

次はアイゼンを付けたまま、最後のひと手をアイス用アックスを用いて登る。というか這い上がる、予定。最後のひと手の手前でCLがガンダタのクモの糸よろしく2本のアックスを釣り垂らしてくれる。これもまた、「ちょっと無理かも…というかトーテー無理かも」という位、自分の手の力がアックスに伝わってない。アックスから自分の手が外れそうになり転げそうだ。アックスを打つ場所もよくわからず、多分そのポイントではないのだと思う。道具を自分の体のように使うというのは訓練が必要だ。お手上げだった。こんななんだ！と衝撃だった。アックスを使って上っている人を見る眼が変わった、すごすぎる。

11時を過ぎ、いったんお昼休憩となる。ビレイはとりつつ、岩の上で海を眺めながらのお昼は爽快だった。キラキラの海の向こうに大島がよく見えた。

次はクライミングシューズに変えて、違う面を登る。90°西側の面を、同様に懸垂下降で降りて、トップロープで登った。先ほどの面より凹凸は少ない。背中中の筋肉を駆使して(後で筋肉痛になったのでどうやら使っていることが解った)力をつま先にいれる。ふんが〜と足に力を入れてプルプルしながら登る。もう少し痩せよう、と思った。

やはり2本登り、13:30本日の練習は終了となる。来た道に戻り、出口を楚々と通り車へ。支度をして14時駐車場を出た。観光バスが3台も来ていた。結構にぎわっている。

確保や、その他いろいろのシステムを理解し、自分でも組めるようにならねばと思った。実際の様子を見ることができて勉強になった。

私はこの後仕事のため直帰したが、CLとTさんはニコニコドライブインでおいしい料理

に舌鼓を打ってから帰途についた。いいなあ、次回は私も食べるぞ。

CL、ひよっこ 2 人に指導・監督ありがとうございました。知識がなく、あまりクライミングの描写ができずすみません。

